

各関係機関長 殿

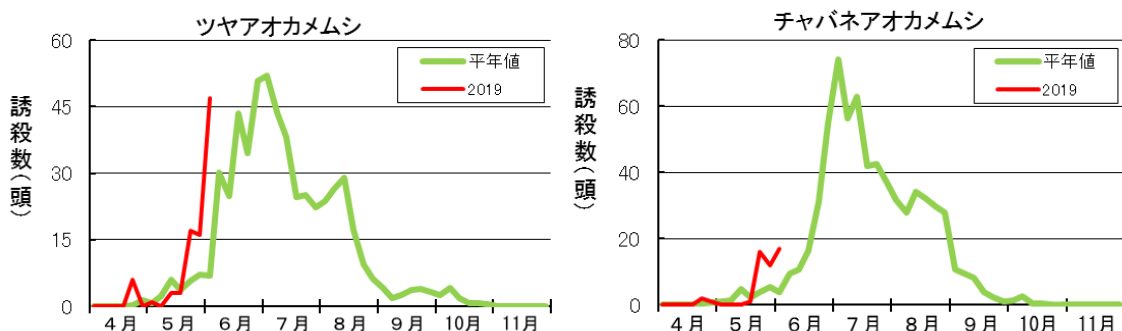
香川県農業試験場病害虫防除所長
(公 印 省 略)

令和元年度病害虫発生予察注意報第 1 号について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

令和元年度 病害虫発生予察注意報 第 1 号

1. 病害虫名 : 果樹のカメムシ類(主にツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ)
2. 対象作物 : モモ、ナシ、カキ、キウイフルーツ、ブドウ、カンキツ、ビワ等
3. 発生が予想される地域: **県下全域、特に山林隣接園**
4. 発生程度 : **多**
5. 注意報発表の根拠
 - 1) 府中果樹研究所の予察灯での 5 月第 5 半旬から 6 月第 1 半旬までのカメムシ類(主要 4 種、ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、アオクサカメムシ、クサギカメムシ)の誘殺数は平年の 3.8 倍(本年: 134 頭、平年: 35.3 頭)と多かった。特にツヤアオカメムシの誘殺数は平年の 4.0 倍(本年: 80 頭、前年: 12 頭、平年: 19.9 頭)であった。また、チャバネアオカメムシの誘殺数は平年の 3.4 倍(本年: 45 頭、前年: 11 頭、平年: 13.3 頭)であった。
 - 2) 今後、活動が活発になり、県下主要果樹であるナシ、カキ、キウイフルーツ、ブドウ、カンキツ、ビワ等で被害の多発生が懸念される。



第 1 図 ツヤアオカメムシ及びチャバネアオカメムシの誘殺状況

6. 防除実施上の留意点

- 1) ナシ、モモ、カキ、キウイフルーツ、ブドウ等の有袋栽培では、できるだけ早く袋かけを行う。
- 2) 圃場内をよく観察し、被害果実やカメムシ類の発生が見られる場合は、早急に防除を実施する。特にスギ、ヒノキ等が周辺に多い圃場や、過去に被害が認められた圃場では注意する。
- 3) 多発してからの防除は効果が劣る場合があるので、発生初期の防除を徹底する。
- 4) 成虫は夕方に飛来し夜間加害するので、薬剤散布は夕方に広域かつ一斉に行うと効果的である。
- 5) 黄色蛍光灯は、チャバネアオカメムシには忌避効果があるが、ほかのカメムシ類には効果がないので注意する。
- 6) 防除薬剤は、香川県農薬情報システム内の香川県主要農作物病害虫・雑草防除指針や果樹研究同志会が発行している果樹病害虫防除暦等を参考にする。
- 7) 薬剤の特徴は、有機リン剤は即効性だが残効が短い。合成ピレスロイド剤は残効が長く殺虫効果だけでなく吸汁阻害効果があるが、天敵に影響を及ぼすため連用するとカイガラムシやハダニ類が急激に増加することがあるので注意する。ネオニコチノイド剤は有機リン剤や合成ピレスロイド剤より殺虫効果は劣るが吸汁阻害効果があり残効も長い。
- 8) 作物によって、登録のある薬剤が異なるので、使用にあたってはラベルをよく読んで、登録の有無や収穫前日数、使用回数等使用基準を遵守する。

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう



6月～8月は、農薬危害防止運動月間です。
農薬の使用が増える時期ですので、今一度、農薬を適正に
使用できているか、チェックしましょう。

病害虫防除所インターネットホームページ
URL: <http://www.jppn.ne.jp/kagawa/>